

迎春



「誰もが安心して豊かに暮らせる共生のまち月形」を目指して

月形町長 上坂 隆一

町民の皆さま、新年明けましておめでとございます。

新しい年を町民の皆さまとともに迎えられることを心からお慶び申し上げますとともに、日頃から町政の運営に対し特段のご理解とご支援を賜り、深く感謝を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となっていた「オリンピック・パラリンピック」が開催され、日本が獲得したメダルの数はオリンピックで58個、パラリンピックで51個となり、コロナ禍にあっても明るい話題となったところでもあります。また、月形町応援大使でありましたメジャーリーグロサンゼルス・エンジェルスの大谷翔平選手は、二刀流として158試合に出場し、投手で9勝2敗、打者ではリーグ3位の46本塁打、100打点、26盗塁、両リーグ最多の8三塁打と大活躍、MVPを満票で受賞するなど多くの賞を受賞したことに私も大変感激したところであります。

新型コロナウイルス感染症については、度重なる緊急事態宣言などによっても抑え込むこと

が難しい状況が継続し、医療崩壊という危機的な状況も心配されましたが、医療従事者の皆さまの懸命な努力によって回避することができたことは、大変頭が下がる思いであります。昨年は春以降ワクチン接種が進み、65歳以上では国民の90%超、全世代でも75%ほどの皆さまが接種を受けたことにより感染者数は徐々に減少し、9月30日をもつてすべての都道府県の緊急事態宣言が解除されたところでもあります。しかし、この間、北海道においては、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による往來の自粛、酒類を提供する飲食店などへの営業時間制限などが行われ、本町でも飲食業や観光業を中心に2年連続して大幅な減収を余儀なくされたところであります。

昨年3月、青果物集出荷貯蔵施設が完成しました。また、穀類乾燥調製貯蔵施設（こめ工房）では、より高い精度でお米を選別するため、糊摺り機や色彩選別機などが最新式の機械に更新され、これからの月形町の農業を支える施設として大いに期待されるところであります。

平成3年7月から始まった新潟県月潟小学校との児童交流は、一昨年30年の節目を迎えましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により交流会と記念式典を1年延期しました。昨年こそは実施できることを心待ちにしておりましたが、北海道、新潟県ともに感染拡大に歯止めがかからないことから、やむなく訪問を断念し、リモート形式により児童交流30回を祝う式典を開催しました。

まちの主要課題となる地域拠点施設と道の駅整備については、町の考え方を「月形町地域拠点施設整備等審議会」に改めて説明し、より具体的な審議を行っていただいております。その結果を尊重しながら整備方針を決定してまいります。義務教育学校の設置については「月形町義務教育学校設置審議会」において審議をお願いしておりますが、地域拠点施設などと限られた財源の中、将来に過度な負担とならないよう時期や規模などについて優先順位を決め、適切に判断してまいります。農業振興や商業振興についても、月形町農業協同組合、月形商工会と連携しながら、町の発展・振興に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症が完全に終息し、一日も早く生活や経済が元どおりとなり、町民の皆さまがこの一年笑顔で過ごせる輝かしい年でありませう心よりご祈念し、新年のご挨拶といたします。

副町長 堀 光一

教育長 古谷 秀樹

迎春



町民の皆さまにとって身近な 議会となることを目指して

月形町議会議長 金子 廣司

町民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

新春を迎え、月形町議会を代表いたしましたし、心からお慶びを申し上げます。

また、町民の皆さまには、常日頃から議会活動に対しご理解とご協力をいただき、さらに温かいご支援を賜っていることに対し、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、まず、新型コロナウイルス感染症です。令和2年に引き続き感染の拡大が収まらず、国の緊急事態宣言が長期間にわたり発令され、外出の自粛など私たちの生活がさまざまな形で制限されてきました。

コロナ禍の中で開催された「東京オリンピック・パラリンピック」では、日本人選手が大活躍し、オリンピックのメダル獲得数は58個と史上最多、パラリンピックでは51個で過去最多52個に次ぐメダルを獲得し、国民に勇気と感動を与えてくれました。さらに、北海道日本ハムファイターズ在籍時に月形町の応援大使を務めていただいた大谷翔平選手が、メジャーリーグの MVPを受賞する快挙を成し遂げました。

本町においては、コロナ禍において行事など

が開催できない状況にありましたが、学校や各団体がそれぞれ開催形式を工夫しながら行事が実施され、徐々に平常を取り戻しつつあります。

農業においては、春から夏にかけての天候不順により農業への影響が心配されましたが、水稲、大豆など総じて平年並みとなりました。また、青果物集出荷貯蔵施設が完成し、農作物の生産振興に係る成果を上げています。

また昨年、本町では大きな災害はありませんでした。本年も大きな災害がなく、豊穡の秋を迎えることを願うものであります。

本年は、北海道日本ハムファイターズの監督に新庄剛志氏が就任し注目を集めており、新庄氏独特の奇抜な発想でチームを盛り上げ、北海道はもとより、プロ野球界を盛り上げてほしいと期待しております。

昨今の地方を取り巻く環境は、少子高齢化、情報化、国際化など、目まぐるしい変化の中で、行財政、農業、商業、町民生活、教育など、どの分野においても対策の充実が求められています。とりわけ農業においては、水田活用直接支払交付金の交付対象の見直しにより、交付金の対象とならない水田が発生しかねない事態と

なっています。

このような状況の中、本町議会におきましては、議員8名により平素の活動のほかにも、より多くの方の声を聴き、町民の声を議会から町政へ届ける努力をし、また、議会だよりの内容を充実させ、町民の皆さまにとって身近な議会となるよう目指しております。

議員としての任期も残り少なくなっており、現在、本町においては、地域拠点施設や皆楽公園施設の整備のほか、義務教育学校の設置や地域公共交通の運行、さらには、昨年、本町の住民基本台帳人口が3000人を切る状況となり、人口減少対策の確立など、重要な課題が山積しております。

町議会といたしましては、住みよい地域生活の実現を目指し、課題の解決に向け、町民の皆さまの意見を真摯に受け止め、町との意志疎通を図り、引き続き重要課題の解決に向けて、全力を尽くす所存でありますので、町議会への変わらぬご理解とご支援をお願いいたします。

結びに、新しい年が町民の皆さまにとって、健康で喜びと幸せに満ちた実り多き年となりますことを心からご祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

副議長

大釜 登

議会運営
委員長

楠 順一

まちづくり
常任委員長

我妻 耕

議員

堀 広一

議員

松田 順一

議員

東出 善幸

議員

若井 昭二